

平成24年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	専門工事業者等の市場環境の整備	担当部局庁	土地・建設産業局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度	担当課室	建設市場整備課	課長 榎本 健太郎				
会計区分	一般会計	施策名	32 建設市場の整備を推進する					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	国土交通省建設産業戦略会議提言「建設産業の再生と発展のための方策2012～「方策2011」を実現し、東日本大震災を乗り越えて未来を拓く～」(平成24年7月10日)					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	新たに人を大切にする施工力のある専門工事業者等を評価する仕組みを導入することにより、技能者の雇用・育成の促進、重層下請構造の是正を図り、結果、技能労働者等の雇用・育成に努めるなど人を大切にする施工力のある専門工事業者等が適切に評価され、建設市場においてその能力を十分に発揮できる環境を整備する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	評価項目の洗い出しや、全体の枠組みを検討するための調査事業を実施する ①アンケート・ヒアリングの実施 人を大切にする企業の取組等についてアンケート・ヒアリングで収集する ②シミュレーションの実施 評価項目・評価基準のパターンを作成し、シミュレーションを実施する(職種や規模によって不公平感が出ないように配慮) ③専門工事業者等の新たな評価手法の検討・スキーム案の提示 専門工事業者等の新たな評価手法に関する検討会を開催し、有識者及び関係者間において議論を行い、スキーム案を提示する							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	-	-	-	-	20	
		補正予算	-	-	-	-		
		繰越し等	-	-	-	-		
		計	-	-	-	-	20	
		執行額	-	-	-	-		
	執行率(%)	-	-	-	-			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	183 専門工事業の売上高経常利益率		成果実績	%	-	-	-	4.0
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	本事業は、新たな評価制度の仕組みの導入に向けた課題の分析や評価項目の検討等を行うものであり、数値として活動指標及び活動実績を設定することはできない。		活動実績(当初見込み)		-	-	-	-
単位当たりコスト	(円/)		算出根拠	本事業で得られる成果は、新たな評価制度の仕組みの導入に向けた課題の分析や評価項目の検討等であり、単位あたりのコストは算出できない。				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	(目)諸謝金		1					
	(目)職員旅費		1					
	(目)委員等旅費		1					
	(目)建設市場整備推進調査費		18					
	計		20					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	—	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>若年入職者の減少と高齢化、熟練工の退職が著しく進行しており、優秀な技術者・技能労働者の確保・育成が喫緊の課題となっている今日の建設産業において、技能労働者等の雇用・育成に努めるなど、人を大切にする施工力のある専門工事業者等が評価される仕組み・環境を整備することは極めて重要であり、国が対応すべき課題である。 今後、本事業の実施に当たっては、支出先の選定における競争性の確保等、効率的な事業推進を図ることとする。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
	<p>地域を支える建設業の担い手確保の観点から重要な施策であり、検討結果の実際の事業への活用など、効果的な施策として効率的に執行できるよう努めるべき。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー		平成23年行政事業レビュー	